

聴くオフ・ミーティング

「みどいの基本計画改定中！

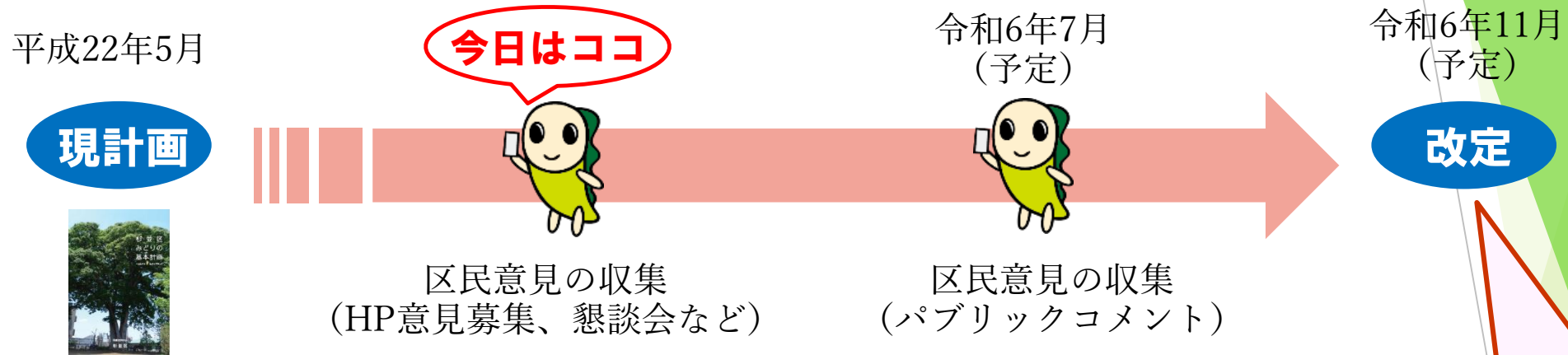
杉並のみどいをどう守る？どう創る？」

令和5年12月9日

杉並区役所

はじめに

区では、みどり施策において重要な「杉並区みどりの基本計画」の改定を進めています。



改定の視点

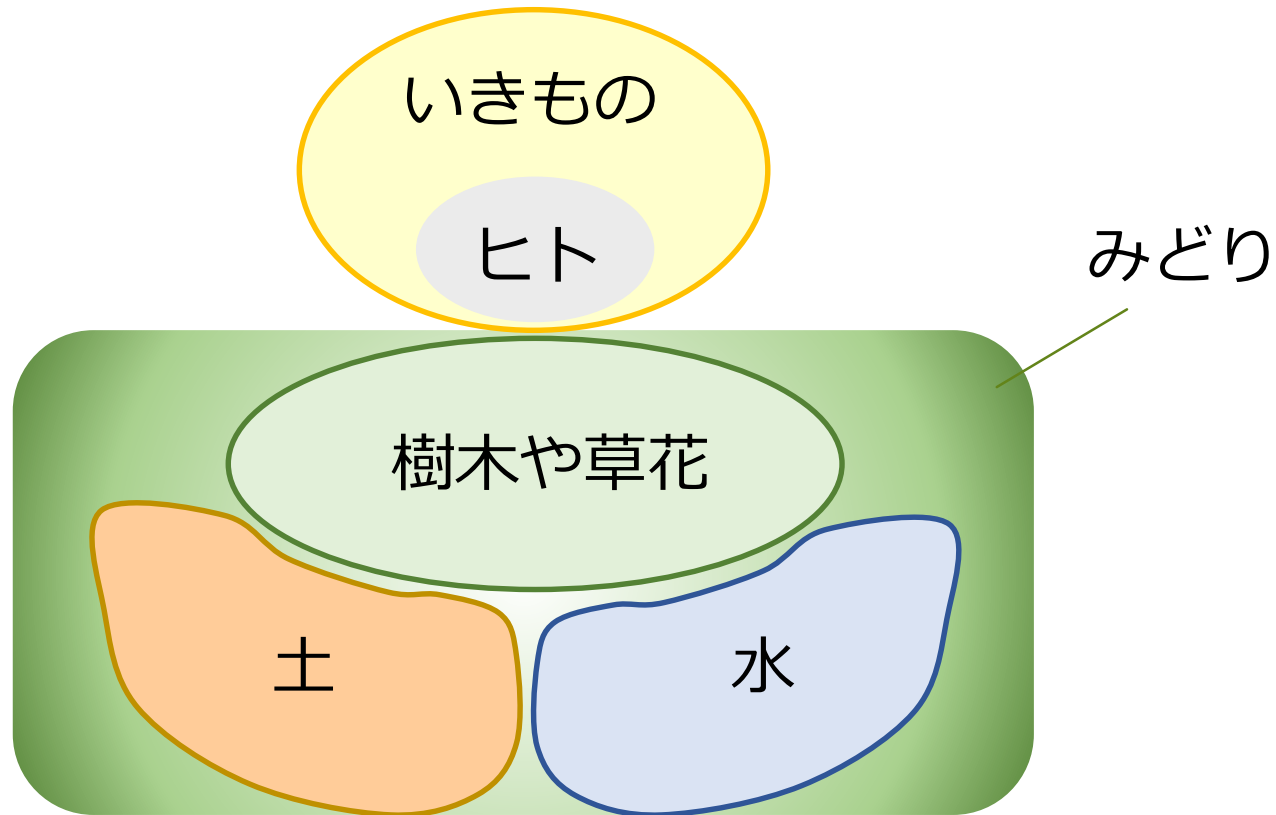
- ① 直面する気候危機に立ち向かい、多様な生き物が生息できる空間づくり
- ② グリーンインフラを活用した持続可能で安全安心なまちづくり
- ③ 杉並の原風景から見る“杉並らしい”みどりのあり方
- ④ みどりに関わる多様な立場を理解し、自分事として考える

私たちの生活とみどりとのつながり



みどりとは？

杉並区みどりの条例では「樹木その他の植物並びに動植物の生息又は生育の基盤である土及び水等の要素と一体となって自然環境を形成している土地」をみどりとしています。



区では、みどりを守り、みどりを創ることで、「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現していきます。

**みどり豊かな
住まいのみやこ**

みどりの現状と課題

区調査の数値から見ると、緑被率は増加しましたが、一方で減少している項目もあります。

緑被率

区内全域に占める緑被地(樹木、草地、農地、屋上緑化)の割合

平成29年度

21.77%



令和4年度

21.99%

接道部緑化率

道路に接する敷地部分(接道部)に占める生垣・植込み等、緑化がある割合

平成29年度

24.61%



令和4年度

22.68%

樹木

幹の直径が90cm以上の樹木の本数

平成29年度

742本



令和4年度

666本

樹林

高木が30本以上で構成される300㎡以上の樹木群

平成29年度

147.24ha



令和4年度

128.34ha

みどりの現状と課題

緑被率のもととなる緑被地は、一戸建て住宅やアパートなどの民間の土地利用が約7割、公園などの公共の土地利用が約3割となっています。

緑被率

令和4年度

21.99%

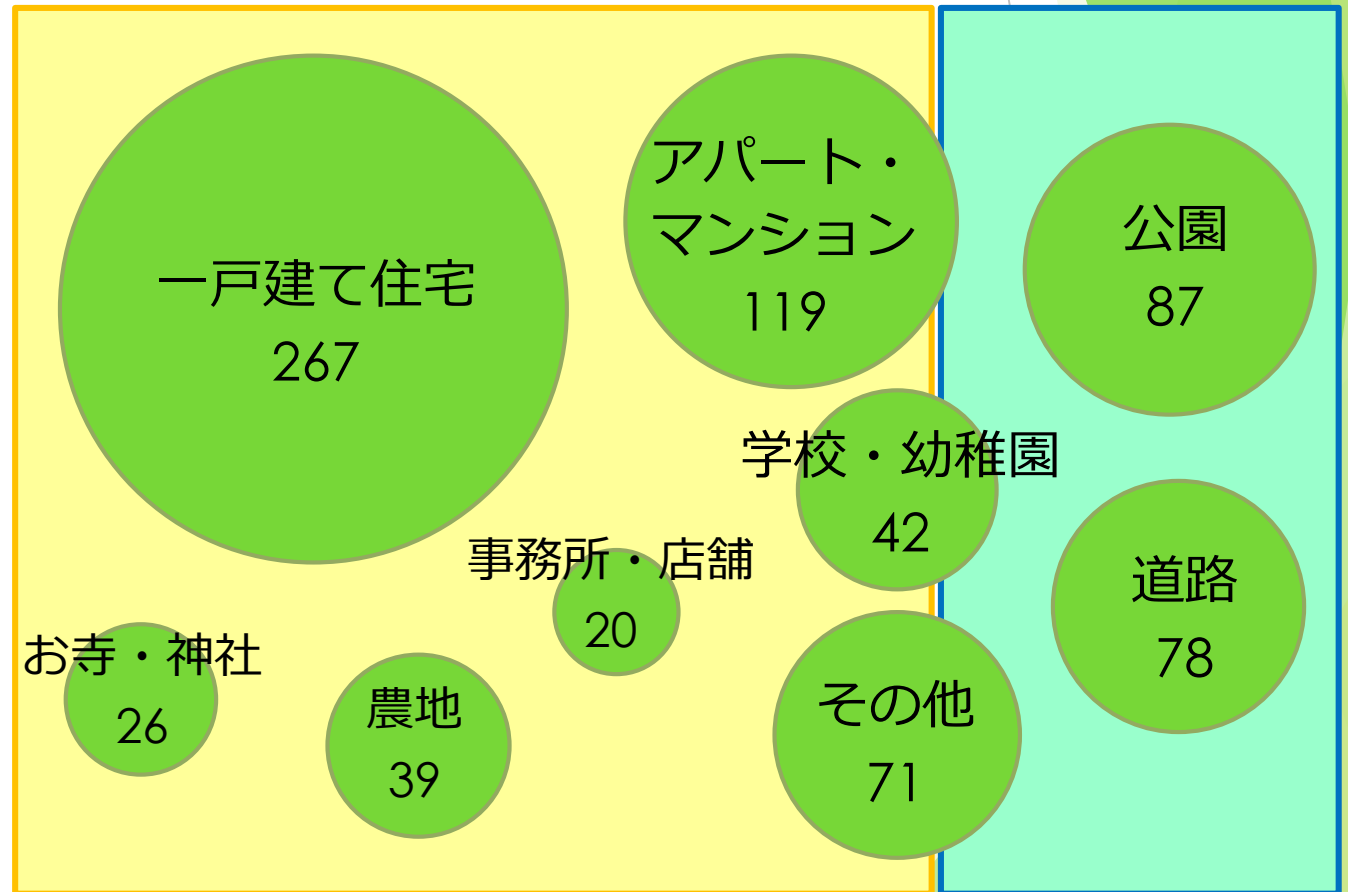
||

緑被地面積 **749万㎡**

杉並区面積 **3406万㎡**

民間 約7割

公共 約3割



単位：万㎡

みどりの現状と課題

みどり減少の事例

屋敷林が18の一戸建てに
変わる



平成24年



令和4年

みどり増加の事例

都立和田堀公園「済美山
運動場」の整備

※2つの事例はともに
杉並区堀ノ内



平成24年



令和4年

区の実施 緑を守り

- 一定の大きさ以上の樹木や樹林、生けがきを保護指定して、維持管理費の一部を補助しています。
- 屋敷林等を区が無償で借り受け、区民に開放する市民緑地（いこいの森）の整備を進めています。市民緑地になると、所有者には固定資産税等が減免になるメリットがあります。
- ボランティアによる落ち葉掃きなどを企画して、屋敷林を貴重なみどりとして地域が守っていく取組を進めています。

など



市民緑地（いこいの森）



落ち葉掃きの様子

区の実施 緑を創る

- 公園の整備や区立施設を緑化しています。
- 住宅や店舗等を建築する際には、樹木や草花を植えるよう指導しています。
- 屋上緑化、道路から見える生垣や植栽に助成することで、住宅・店舗等のみどりを増やしています。
- 公園などの一角に花壇をつくり、ボランティアの花植えなどをサポートしています。

など



天沼小学校の屋上緑化



PTA・学校、子どもたちが花壇で植え付け

杉並のみどりをどう守るか？ どう創るか？

改定の視点

- ① 直面する気候危機に立ち向かい、多様な生き物が生息できる空間づくり
- ② グリーンインフラを活用した持続可能で安全安心なまちづくり
- ③ 杉並の原風景から見る“杉並らしい”みどりのあり方
- ④ みどりに関わる多様な立場を理解し、自分事として考える

本日とくにお伺いしたいこと

皆さまのアイデアをいかして、杉並区みどりの基本計画を改定